







乳児期 〇歳

幼児前期 1歳~3歳

幼児後期 4歳~6歳 小学校低学年 7歳~8歳

子どもたちに生涯を通じた宝物"読書習慣"をプレゼント!!

小学校中学年 9歳~10歳

小学校高学年 11歳~12歳

中学校 13歳~15歳

●ちゃんと見てるよ聞いてるよ

自分を守り、自分に応答的に 関わってくれる大人(多くの場合 母親)との間に、情緒的な絆(愛 着)を形成します。生まれた時、 赤ちゃんは目が見えています。聴 力は非常に発達しています。

●何度でも読んで何度でも聞かせて

大人の言うことがわかるようにな り、自分の意志を大人に伝えた いという欲求が高まってきます。 言葉の発達が著しく、2歳頃に はまだ体験していないことにも想

像力を働かせることができるように

なります。

●いろんな絵本を読んでほしいな

自分と他人では考えていること が違う場合もあることが分かるよ うになります。生活の繰り返しの 中で、直接的な体験や具体的 な事柄と関わらせながら世界に 対する認知を広げていきます。

●読書って楽しいな

科学的な読み物や物語集、絵 本など、説明的な文章や文学的 な文章を問わず様々な本を読み ます。昔話や神話・伝承など伝統 的な文化に関わる本に、読み聞 かせを通して親しみます。

●いろんな本を読んでみよう

一冊の本だけでなく、同じ主人公 や作家、詩人のシリーズ、ファンタ ジーのシリーズなど、物語集や詩 集などにも読書範囲が広がるよう にします。図鑑や事典、辞書を利 用して分からないことを調べること ができるようになります。

●読書を通して

考えを広げたり深めたりしよう 一つのテーマについて、書き手が違う 本を読んだり、同じ書き手の複数の本

を読んだりして、比べて読むことが様々 な違いを発見する喜びにつながること を知ります。本以外に新聞や雑誌など いろいろな資料にも目を向けます。

読書を通してものの見方や考え方を 広げ、読書を生活に役立てよう

様々な本や文章を読んで、書き手の ものの見方や考え方と自分のものの見 方や考え方を対比させて新しい考え方 を知ったり、自分の考えを再構築したり します。このことが、豊かな生活につな がっていきます。

などの影歌は出会り 読み聞かせ

赤ちゃんが心地よい状態の時 に抱っこしたり膝に座らせたりし て、赤ちゃんと一緒に絵本を見 て語りかけましょう。繰り返しやリ ズムのある絵本、子どもにとって 身近な言葉が書かれている絵 本がお薦めです。

絵を楽しみ、言葉の響きを感じ られるように、ゆっくり見せて、読 んで、子どもの発する言葉に耳を 傾けましょう。何回も繰り返し読ん でほしい程好きになるお気に入り の本ができるかもしれません。

言葉の力、言葉で考える力が育つる の時期。ファンタジーの世界に浸れる絵 本、自然科学の絵本、昔話絵本など いろいろなジャンルの絵本に出会わせ てあげましょう。文章量の多い昔話絵本 は、絵本から物語の本への橋渡しとし て、とても重要な役目を果たします。

まだまだ一緒に読みたいよ!

文字が読めるようになっても、一人 で読んでお話を理解するのはとても 難しいことです。読み聞かせを続け ながら、子どもがお話の世界を十分 楽しめるようにしましょう。

窓渡で読むと祭しさアップ 家庭読書

保護者自身が読書を楽しむ姿を子どもに見せることは、子どもが読書好きになる効果的な方法です。テレビを 消して、静かな空間を作り、家族で本を読んだり、図鑑を使って一緒に調べたり、子どもと読書を楽しみましょう! 図書館や本屋さんへ親子で出かけることは、子どもの好きなことや得意なことを知る良い機会となります。

【読み聞かせ】 ・親 が子どもに ・子どもが親に

【親子で一緒に読書タイム】 ・親子で同じ本を一緒に読む。 ・親子で同じ本を一緒に読む。 ・親子が違う本を読む。

●本の感想を交流

【親子がそれぞれ読書タイム】

・親子で同じ本を読む。 ・親子が違う本を読む。

なのあるくらし

身近なところに本がある環境

はじめまして絵本

7か月児健康相談に合わせ、

読み聞かせ「おはなしのへや」で実施しています。

●毎週土曜日午後2時~

読み聞かせサポーターによる絵本や紙芝居の読み聞かせ

●毎月第3火曜日午前10時30分~ どんぐりスタッフ*1による読み聞かせ&ちょっとした工作

こども読書週間の取組

「こどもの読書週間」*2 期間中に工夫をこらし た展示をしています。

1 学校全体で読書活動を推進する体制

図書館教育全体計画の作成

読書指導・利用指導について、発達段階に合わせた計画を作成 しています。

図書館利用指導年間計画

多様な読書活動を展開できるよう、図書館を利用して学習を進めること を明らかにした計画を作成しています。

3 家庭・地域との連携による読書活動の推進

保護者や地域住民による読み聞かせ

図書館まつり期間中等に保護者や地域住民の方による読み聞 かせを実施しています。

子どもによる地域の方への読み聞かせ

クラブ活動や委員会活動、総合的な学習の時間等に、地域にあ る老人ホームやデイサービスセンターを訪問し、子どもたちがお年 寄りの方に読み聞かせをしています。また、中学生が家庭科の授 業の一環として幼稚園・保育園を訪問し、絵本の読み聞かせを実 施しています。

親子図書

親子で同じ本を読んだり、違う本を読んだりして感想を伝え合います。

家庭教育学級*7における研修

保護者が読み聞かせの大切さやコツを学びます。

小学校 • 中学校

2 読書習慣の確立・読書指導の充実

<mark>読書に関する催し</mark> 年に1,2回委員会を中心に図書館まつりの開催

推薦図書 各学年でぜひ読み切ってほしいと思う本の選定

おすすめの本の紹介 委員会の子どもや教職員がすすめる本の紹介

読書タイム(一斉読書)の実施

始業前の朝の時間や給食配膳中の時間に読書活動の実施

読書の記録

読んだ本を記録及び読書指導への活用

4 学校図書館の機能強化

●「読書センター」としての機能
●「学習・情報センター」としての機能

学校図書館担当事務職員(学校司書)の配置

学校図書館に関する業務を担当する職員を市内の小中学校に各1名配置 し、子どもと本をつなぐ大切な役割を担っています。

図書館資料の整備・充実

- ・学校図書館として必要な図書資料の購入・適切な除籍
- ・授業に活用できる図書資料のある「資料コーナー」
- ・国立国会図書館、岐阜県図書館のサービス利用

絵本との出会いの大切さ、絵本 の選び方や読み聞かせのポイン トを保護者に説明しています。

子どもの利用のためのスペース

子どもが図書館をより利用しやすくするためのスペースやコーナーを設けています。

- ●児童図書室
- ●おはなしのへや
- ●図書検索コーナー
- ●ヤングアダルト*3 コーナー

学校との連携 ●中学生ボランティア・職場体験の受入れ

●学校図書館の支援…団体貸出*4、移動図書館*5、学校図書館活動の支援、学校司書*6 研修への司書派遣

幼稚園・保育園

読み聞かせ

各園では、読書活動の時間を教育計画・保育計画に 位置づけ、日常的に教諭・保育士による絵本や紙芝 居の読み聞かせを実施しています。

本の貸出

各園では、子どもが絵本を選んで持ち帰り、家庭で読 み聞かせをしてもらえるよう本の貸出を実施しています。

こんな取組もしています!

●保護者の貸出ボランティア

●保護者、未就園児の保護者への啓発 読み聞かせの重要性について保護者に伝えています。

どんな本を選んだらよいかなどについて学んでいます。

貸出用図書の整備や整理を保護者ボランティアが行っている園 もあります。